

秩父宮ラグビー場の移転整備

- 平成25年6月に東京都が「東京都市計画神宮外苑地区地区計画」を決定。
- 上記地区計画に基づき、スポーツクラスターとしてのまちづくりを推進していくため、平成27年4月にJSCを含む関係権利者と東京都で、神宮外苑地区まちづくりに係る「基本覚書」を締結。
- 平成30年11月に東京都が「東京2020大会後の神宮外苑地区のまちづくり指針」を策定。
- JSCを含む関係権利者は、上記指針に基づき、市街地再開発事業について、必要な行政協議を本格的に進めている。

再開発事業による新ラグビー場の計画概要

- ラグビー場の歴史的背景を踏まえ、「**秩父宮**」の名称は引き継ぐ。
- 「ラグビーの聖地」としてのレガシーを次世代に引き継ぐため、**ラグビー専用スタジアム**として整備。
- 『スタジアム・アリーナ改革指針』を踏まえ、**多用途で利用可能な施設**とする。
- 東京都のまちづくり指針に基づき、競技の継続に配慮した段階的な建替えを前提として、**第1期工事(フィールドと3面のスタンド)と第2期工事(南側のスタンド)にわけて整備。**

段階建替えイメージ

○ 現況

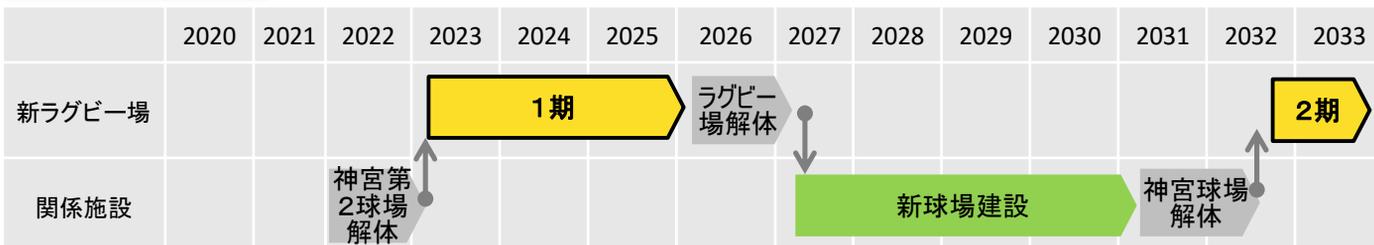


○ 第二球場解体⇒ラグビー場棟Ⅰ期

○ ラグビー場解体⇒
野球場/球場併設ホテル棟○ 神宮球場解体
⇒ラグビー場棟Ⅱ期

想定スケジュール

(環境影響評価調査計画書変更届提出時(令和2年1月))



(注) 東京2020大会の延期等の影響により今後変更となる可能性があります。